

平成22年7月吉日

《 第14回勉強会 ワークショップのご案内 》

日本化粧品技術者会 大阪支部
幹事長 柴山 裕治
勉強会委員長 吉井 隆

いつも日本化粧品技術者会大阪支部の活動にご参加頂き有難うございます。

近年、多様化する消費者ニーズに対応し、アンチエイジング、美白化粧品、オーガニック化粧品、高保湿、アクネ対応など訴求効果が多様化、複合化しています。それに伴い、化粧品成分の成分起源や多機能性、高機能性などは従来にも増して関心が高まっています。

今回、それぞれの分野で実務に取り組んでおられる第一人者をお迎えし、「化粧品成分レビュー 2010 -食品素材、高分子素材、機能性成分の応用-」のテーマで第14回勉強会を開催致します。ご講演と共にパネルディスカッション、情報交流会を通して、三名の演者の方々から、魅力ある製品開発へのヒントを得ていただければ幸いです。どうぞ、奮ってご参加頂きますよう、お願い致します。

記

日 時： 平成22年8月24日(火曜日) PM 1:00 受付開始 4F ロビーにて
場 所： 薬業年金会館 401・402号室 (谷町6丁目駅下車C階段4番出口)
<http://www.dy-net.or.jp/kankei/nenkin.htm>

スケジュール

1. 1:30 開会の挨拶
2. 1:35-2:25 講演1「食品素材と化粧品素材」坪井 誠 氏 / 一丸ファルコス株式会社 開発部
・天然の素材を機能性のある食品素材とするために必要なこと、・化粧品素材とするために必要なこと、・素材メーカーがどのような研究を行って開発を進めるかなど、具体的な事例を基に解説します。
- 2:25-3:15 講演2「高分子素材」小島 正明 氏 / 伊那食品工業株式会社 研究開発部
高分子は石油化学から作られる合成高分子と天然素材を原料にする天然高分子に大別されます。近年、アレルギー等の問題から化粧品素材に天然高分子が注目されています。天然高分子の原料は海藻、種子、根茎、果皮、発酵産物、甲殻類、動物の骨や皮などさまざまである。天然高分子はそれぞれに特有の性質を有しており、食品分野では様々な場面で使用されている。今回は日本で発明され 400 年近い歴史を持つ寒天を中心に、天然高分子の特性と用途を紹介します。

<15分休憩>

- 3:30-4:20 講演3「化粧品の機能性のトレンドの歴史-過去から現在、そしてこれから-」
岡野 由利 氏 / ニッコールグループ (株)コスモステクニカルセンター 基盤技術研究部
薬事法では、化粧品・医薬部外品には高い機能性はないと定義されているにもかかわらず、市場では機能性化粧品のニーズが高い。求められる機能性は時代によって変遷するが、この移り変わりは皮膚科学の基礎研究と連動していることが多い。ここでは、1970年代から現在までの化粧品の機能性の歴史と、現在のトレンドを述べます。最近の機能性については、実際の化粧品を例にとり、その機能性と成分について解説します。

3. 4:25-5:05 パネルディスカッション
演者と勉強会委員がそれぞれの立場から見た化粧品成分、製品開発のあり方についてをクロストーク
4. 5:05~5:10 閉会の挨拶
<10分休憩>
5. 5:20~7:00 情報交流会

※ 服装はカジュアルビジネスとし、ノーネクタイを推奨します

参加費:会員・会員代理 : 3,000円

※ 先着、定員80名となり次第、締め切りとさせていただきます。

申込方法:下記申込書を **FAX にて 8月11日(水)**までに下記宛にお願い致します。

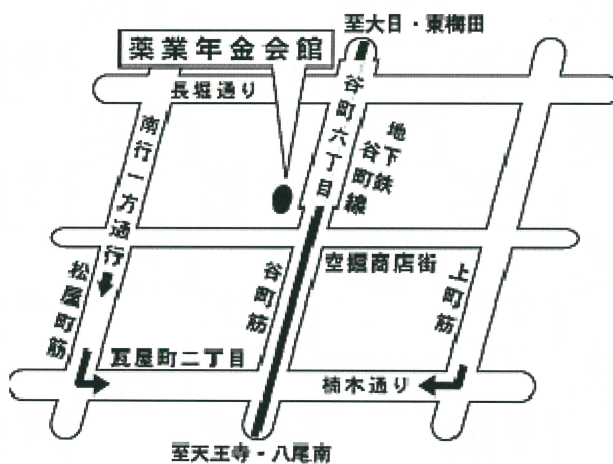
※ 参加証等は発行致しませんが、当日、受付にて参加者名を確認させていただきます。

送金方法:参加費は前納とし、支部名義の下記口座に**8月11日(水)**までにお振込み願います。

尚、振込料は各自でご負担下さい。

口座名:三井住友銀行 大阪中央支店 普通 No.145680
日本化粧品技術者会 大阪支部 会計 立岡 寛次(ツツオカ カン)

会場地図



問合せ先:日本化粧品技術者会 大阪支部 事務局

〒541-0045 大阪市中央区道修町1-7-11 岩瀬コスファ(株)内

TEL 06-6231-3459 FAX06-6231-5769 E-mail: osaka@sccj-ifsc.com

以上

申込み先:日本化粧品技術者会 大阪支部 事務局 岩崎 宛 FAX 06-6231-5769

平成22年8月24日 第14回勉強会 ワークショップ 参加申込書 月 日

社名・所属	TEL
	FAX
氏名	MAIL